

# 東京都立山崎高等学校

## スクール・ミッション      スクール・ポリシー

### 【スクール・ミッション】

互いの人権を尊重し、協力しあいながら、志を高めて自ら学びに向かおうとする姿勢を養うことを教育目標とし、自己肯定感を高めるといった教育活動を通じて、変化する社会に柔軟に対応する力を培い、共に挑戦し続ける生徒を育成する。

### 【スクール・ポリシー】

#### 1 グラデュエーション・ポリシー

○生徒一人一人が将来の夢や希望をかなえるために「基礎知識」「基本的生活習慣」の育成をめざす。

「基礎知識」の到達目標は、生徒同士の学び合いの時間や振り返りの時間を重視した「学びたくなる授業」をとおして、知識や技能だけでなく思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を高めさせて授業外学習等、学び続けられるようにする。「基本的生活習慣」の到達目標は、全ての教育活動をとおして、挨拶や身だしなみ等、マナーや時間を守るなどの習慣の獲得、決められた法律、法規、ルールやマナーの厳守に加え、委員会活動を重視し、自らの与えられた仕事、役割の遂行ができるようにして18歳成年年齢に相応しい主権者を育成する。

○生徒一人一人が将来の夢や希望をかなえるために「創造力」「表現力」「課題発見力」の育成をめざす。

「創造力」の到達目標は、様々なことに興味・関心を持ち、その内容について自ら考え、案を提示することができるようにする。「表現力」の到達目標は自己の考えや意見等を工夫して表現（記述・発表など）し、自分の考えなどを伝達することができるようにする。「課題発見力」の到達目標は自分自身や自分の置かれた状況を把握し、課題を発見ができ、自分や周囲の現状を把握し、その原因の分析・評価・改善が図れるように育成する。

○生徒一人一人が将来の夢や希望をかなえるために「社会性」「主体性」「実行力」の育成をめざす。

「社会性」の到達目標は集団の中で他者とコミュニケーションが図れること、お互いの考えの違いを受け入れ、会話や議論に向き合うことができるようにする。「主体性」の到達目標は与えられた状況や条件、指示、役割に従って課題解決に向けて自分事として関わることができること、その中で先頭に立ってリーダーシップを発揮して課題に関わることができるようにする。「実行力」の到達目標は計画・行動の遂行ができるようにする。

#### 2 カリキュラム・ポリシー

○教科主任を中心とした教科会と担任団の連携により、生徒の適性に応じたきめ細かい学習指導を行い、ゼロ時間目や習熟度別授業、習熟度別クラス、選択授業、長期休業期間等の補習・講習等をとおして、基礎学力及び応用力を身に付けさせる。

○教科主任会を活用し、ICT機器の活用やアクティブ・ラーニングの手法（平成30・31年度推進校）を活用し、教師が生徒に教え込む授業ではなく、生徒同士が学び合う時間や振り返る時間を重視して「思考力・判断力・表現力」の育成を図る。また、教科・科目ごとにシラバス（年間指導計画）を生徒に明示して、生徒が主体的に計画し、学習到達度を把握させるとともに、生徒自らが授業規律の厳守と学力向上が図れるようにさせる。

#### 3 アドミッション・ポリシー

本校はユネスコスクールとしてESDIに取り組み、「18歳成年年齢に相応しい主権者の育成」をスローガンとして、探究学習と委員会活動を重視し、全ての教育活動を通して、4つの校訓である克己（自己のもつ弱さを克服する力）・高志（自分を高めようとする意志）・敬愛（お互いを大事にする優しさ）・協働（協力し合い助け合う姿勢）を身に付ける高い意欲をもった生徒の入学を期待します。

- 1 法律、規則、ルールの厳守やマナーや身だしなみ等の立ち居振る舞いを大切に、規律ある行動ができる生徒
- 2 探究学習や委員会活動等、学校生活を中心に過ごす意欲の強い生徒
- 3 委員会活動や学校行事等、帰属意識をもって、自分たちごととして自ら進んで活動できる生徒
- 4 地域交流やボランティア活動等に積極的に参加し、リーダーシップのある生徒
- 5 国際社会に積極的に参加しようとする意欲のある生徒

\* 特に推薦選抜においては、上記の項目に加え、コミュニケーション能力に優れ、物事の本質を考え、判断し、表現できる生徒